

24時間テレビが帰ってきました！

2月24日（月）、24時間テレビ環境保護活動in福岡「生き物に優しい博多湾へ！アマモ場づくりプロジェクト」が開催されました。

今津校区は、2011年から9年間、24時間テレビ環境保護活動支援事業として行われた、長浜海岸のビーチクリーンに参加してきました。

新型コロナのため、活動がしばらく中断していましたが、「アマモ場づくりプロジェクト」として新たな取り組みがスタートしました。

アマモは、魚のすみかや産卵場所となり、二酸化炭素を吸収して地球温暖化を緩和する効果が期待されています。

玄洋高校で九州大学の清野先生から「今津海岸の地形と海流、ゴミについて」、一般社団法人ふくおかFUN代表大神氏から「アマモについて」の学習、磯焼けなど海底の状況が深刻であることを学びました。寒天団子にアマモの種を入れる「アマモ団子づくり」を行い、浜崎海岸で清掃活動の後、海底の再生を願ってアマモ団子を海に投げ入れました。

シバカチンガー、も参加しました。 今津校区自治協議会



今津小学校卒業式

3月14日（金）に本校体育館にて、卒業証書授与式が執り行われました。保護者や今津地域の来賓の方々、また学校生活を支えてくださった教職員に見守られながら、厳かな雰囲気の中、6年間の小学校生活の思い出を言葉と歌にして35名の卒業生が旅立ちました。

PTA会長からも、子供たちの新しい門出を祝福し、卒業記念品とともに中学校生活に向けて言葉を贈られました。涙や笑顔がありつつも、晴れ晴れとしたお顔で卒業した卒業生のみなさん、改めておめでとうございます。



今津小学校PTA

卓球大会を開催しました

2月16日（日）今津小学校体育館において、地域・職域交流卓球大会を行いました。今回は、スターフィールドの職員の皆様と、今津公民館卓球サークルのメンバーの方々にも参加していただきました。

《試合結果》◆優勝→今津公民館卓球サークル① ◆準優勝→今津公民館卓球サークル②
選手、スタッフの皆様、お疲れ様でした。 スポーツ振興会



三角池の草刈りをしました

3月8日（土）、三角池の草刈りをしました。参加者は会員メンバー、ボランティアの方を含め18名でした。通常の草刈り、歩道の草むしりに加えて、大きく育った山茶花や遊歩道まで伸びた桜の枝を剪定しました。

すみよい今津をつくる会では、三角池の草刈り・清掃を年に3回行っています。事前にお申込みをいただければ、どなたでもご参加いただけます。次回は6月を予定しています。是非ご参加ください。 すみよい今津をつくる会



子ども交歓会に参加しました

1月9日（日）西体育館にて、子ども交歓会がありました。子ども交歓会は、西区子ども会の交流イベントです。

今年はミ二運動会が行われ、今津校区からは高学年の8名が参加しました。防災リレーの競技の中では、バケツリレーや担架作りを経験することが出来ました。西区の子どもたちと一緒に、今津っ子もとても楽しそうでした。 子ども会育成連合会



今津校区「青パト」活動について

「青パト」とは、正式には福岡県警察本部長から承認を受けた「今津校区青色防犯パトロール隊」です。隊員は自治協主体の皆さんです。

月4回程度、今津校区内を子どもたちの登下校の見守りや、

地域住民への各種犯罪・被害の未然防止などのため、パトロールの実施をしています。夏休み期間中には、校区各団体、自治協役員合同で夜間パトロールも実施しています。台風・豪雨の後の被害巡回パトロール、通学路他飛来物確認巡回パトロールもあります。猿・猪出没情報に伴い駐在さんと合同で注意喚起呼びかけを実施したりもします。

「青パト」活動は、地域の安全・安心のためのパトロール活動です。「青パト」にご協力していただいている皆様、心より感謝いたします。 今津校区防犯推進委員会



今津音頭裏話（後編）

録音にあたって、会長会のメンバー（自治協議会会長、各町内会長、副会長）11名は東区の録音スタジオに出かけ、その場でソプラノ歌手の林摩耶さんが伴奏に歌を吹き込むのを見学しました。これで「今津音頭」は完成と思ったのですが、日下部さんから「歌に『それ！』という



掛け声を入れたい。それも威勢のいい男声で！」とお願いがあり、会長会のメンバーは「やりましょう」とその場で即決。けれども11人の掛け声が何度やっても揃いません。そこで、吹奏楽の経験を持つメンバーの一人が指揮を名乗り出て、みんなはその指揮に合わせて、「それ！」と見事に合格！

振り付けは、日本舞踊を教える地元の方々が担当しました。振り付けについては、こぶしで天をついて波の力強さを表現し、両腕を上げて円を描く動きは、地域資源の豊かさを示しているそうです。

7月上旬には、自治協役員や地域団体関係者約70人が今津公民館に集まり音頭の発表披露会を開きました。その後、各町内で何度も踊りの練習を行い、令和元年7月22日の夏祭りではやぐらの上の林摩耶さんの美しい歌声に合わせて地域みんなで踊りました。

ところで、3番で歌われている太鼓のうなりは、当時野の花学園職員が演奏していた「野の花太鼓」の音を表していましたが、「野の花太鼓」の夏祭りへの出演が難しくなり困っていたところ、令和5年から地元大原の「青龍太鼓」の出演が決まり安心しました。

今津の大人が踊り始めた「今津音頭」ですが、今では今津小学校と今津保育園でも運動会で全員が踊っています。そのため、夏祭りが近づく小さな子ども達がお父さんやお母さんに踊りを教える家庭もあるということです。

なお、「今津音頭の振り付け解説」は今津校区自治協議会ホームページに動画で掲載予定です。